

気をつけよう！ 水の事故

夏には、水の事故が多く起こります。こんなことにも気をつけてね。



○大雨に気をつけよう！！

- ・道路の側溝が、大雨でふたが少し開いているのに気付かず、歩いていて転落してしまった。(小学生)

○物を拾って転落！

- ・靴の中の土を払おうとしたところ、靴が川に落ちたため、靴を拾おうとして川に落ちおぼれた。(小学生)
- ・部活動中、ボールが川に落ちたので、拾いに行って落ちおぼれた。(高校生)

○高波に気をつけよう！！

- ・海で友達と腰の高さ位で遊んでいたところ、急な高波が来て、友人と共にさらわれた。(高校生)

○飛び込みには気をつけよう！

- ・川にかかる橋の上から友人と川に飛び込んであそんでいるうちにおぼれた。(高校生)



詳しくは、『学校の管理下の死亡・障害事例集18, 同19, 同20年版』を参考にして下さい。



☆☆泳がないで救助する☆☆

水の事故については、二次災害も多数発生しています。二次災害を起こさないためにも、泳がないで救助する方法も考えましょう。

身近にあるものを使い、泳がない救助の仕方をご紹介します。

- ① ペットボトル(少し水を入れ)を投げたり、さおやタオル・Tシャツを結んでこぶを作って差し出す。

(注)ペットボトルには、浮輪替わりになり、水を入れると遠くまで届きます。

- ② 何人かが次々手をつなぎ合って水中に並び助ける。

- ③ 杭や樹木につかまって手や足を差し出す。



救助したら、AED(自動体外式除細動器)などを使用して、心肺蘇生法などの応急手当をする。



川や海のまわりは足元もすべりやすいので常に注意を忘れずに！！

詳しくは、『学校における水泳事故防止必携(新訂2版)』を参考にして下さい。

